

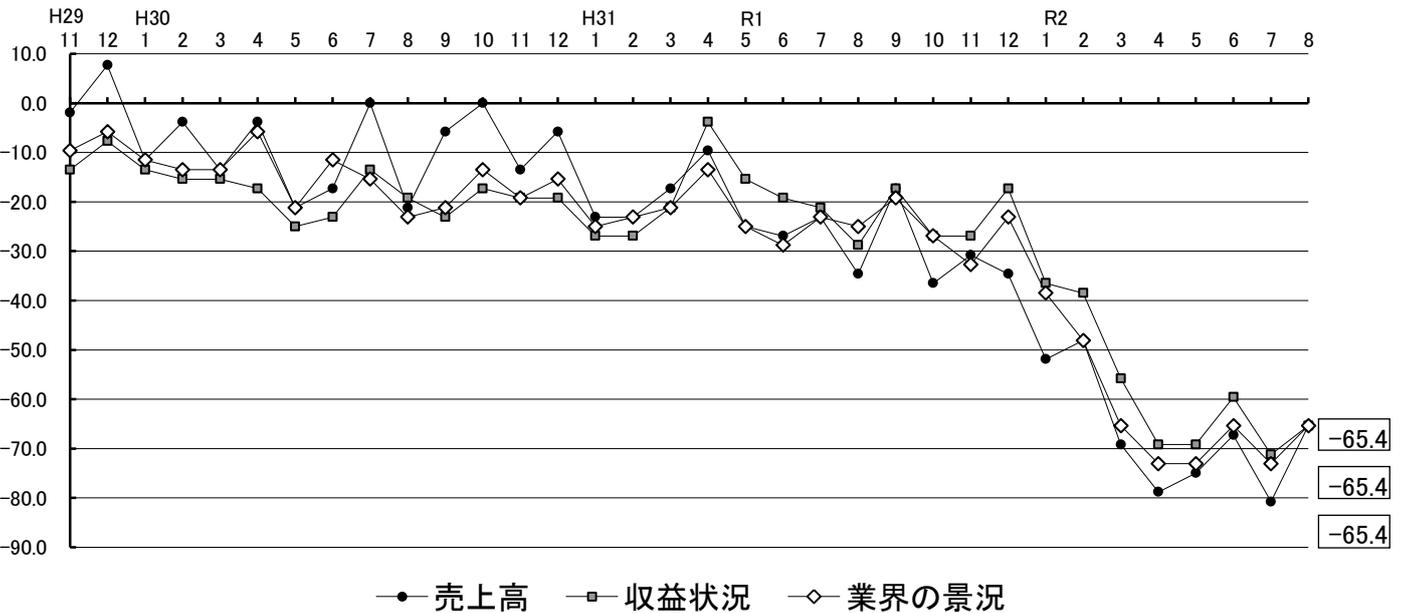
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年8月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標全てが上昇したが、依然として厳しいマイナス状況に変わりはない。
- 一部に回復の兆しも見られるが、以前の水準に戻るには相当な時間がかかるとの見方が強い。
- 新型コロナ以外に長梅雨や猛暑等の天候による悪影響が出ているとの声も聴かれる。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-65.4	15.4	-59.8	2.4
収益状況	-65.4	5.8	-60.5	2.7
業界の景況	-65.4	7.7	-65.2	1.9

## 売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より15.4ポイント上昇し、-65.4ポイントとなった。全国においては、前月より2.4ポイント上昇し、-59.8ポイントとなった。

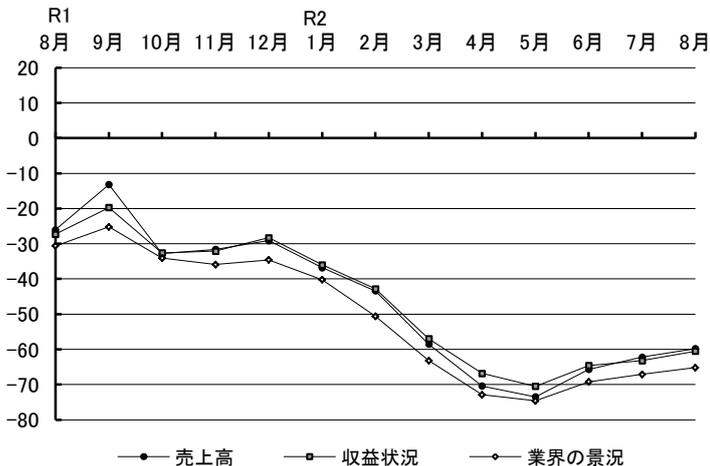
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント上昇し、-65.4ポイントとなった。全国においては、前月より2.7ポイント上昇し、-60.5ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント上昇し、-65.4ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント上昇し、-65.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



## -概況-

8月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中6指標が上昇し、1指標が下降した。主要3指標は「売上高」が15.4ポイント上昇、「収益状況」が5.8ポイント上昇、「業界の景況」が7.7ポイント上昇した。全てが上昇を示しているものの、依然厳しいマイナス状況が続いている。

業種別・指標別にみると、図表1のとおり、「売上高」「収益状況」「業界の景況」において、製造業7業種中3業種が-100.0ポイント。非製造業では、6業種中「売上高」「業界の景況」が2業種、「収益状況」が1業種で-100.0ポイントとなった。図表2のとおり、指標別にみると9指標中6指標が上昇、2指標が同値、「取引条件」1指標が悪化した。

6月以降の営業活動の再開が徐々に売上上昇につながっており、一部に前向きな意見も増えつつあるが、以前の水準に戻るにはまだ相当な時間がかかる等慎重な意見も聴かれた。資金繰りは制度融資や各種助成金を利用して工面しているが、先の見通しが立たずに休業や時短勤務、給与減額を検討する事業所も出ている。新型コロナの影響以外に長梅雨や夏の猛暑が影響している業種も多く、暑さによる外出控え、長梅雨や局地的な大雨から仕入れに影響が出ている等の声も聴かれた。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-100.0	-50.0	-25.0	-25.0	-100.0	-75.0	-75.0	-50.0	-100.0
木材・木製品	-50.0	50.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0
鉄鋼・金属	-75.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-75.0
一般機器	-100.0	-50.0	-25.0	-25.0	-100.0	-75.0	-100.0	0.0	-100.0
製造業	-64.0	-12.0	-8.0	-16.0	-60.0	-44.0	-56.0	-16.0	-64.0
卸売業	-100.0	0.0	-33.3	-66.7	-100.0	-33.3		0.0	-100.0
小売業	-85.7	-42.9	28.6	-28.6	-85.7	-71.4		0.0	-71.4
サービス業	-50.0		-33.3	-33.3	-83.3	-50.0		-33.3	-66.7
建設業	-20.0		-20.0	0.0	-20.0	-20.0		0.0	-20.0
運輸業	-100.0		0.0	-25.0	-75.0	-75.0		25.0	-100.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	-50.0		0.0	-50.0
非製造業	-66.7	-30.0	-7.4	-25.9	-70.4	-51.9		-3.7	-66.7
全体	-65.4	-17.1	-7.7	-21.2	-65.4	-48.1	-56.0	-9.6	-65.4

図表2 【指標別DI値の推移】

	元年	9月	10月	11月	12月	2年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
	8月					1月								
売上高	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	-69.2	-78.8	-75.0	-67.3	-80.8	-65.4	15.4
在庫数量	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-5.7	-22.9	-5.7	-22.9	-17.1	-17.1	0.0
販売価格	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	-11.5	-7.7	-15.4	-13.5	-7.7	-7.7	0.0
取引条件	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-15.4	-23.1	-26.9	-19.2	-15.4	-21.2	-5.8
収益状況	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-55.8	-69.2	-69.2	-59.6	-71.2	-65.4	5.8
資金繰り	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	-38.5	-53.8	-55.8	-51.9	-51.9	-48.1	3.8
設備操業度	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	-28.0	-64.0	-72.0	-56.0	-68.0	-56.0	12.0
雇用人員	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	-3.8	-11.5	-11.5	-19.2	-15.4	-9.6	5.8
業界の景況	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-65.4	-73.1	-73.1	-65.4	-73.1	-65.4	7.7

## 特記事項

情報連絡員報告（令和2年8月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	6・7月から見ると売上げは前年に近づいているが、地域によっては、まだ大幅に減少している。観光地、駅など影響が大きい。
あん類製造業	少しずつだが、前年度の売上に近づいてきている。やはり人の行き来による経済活動の活発化が鍵となりそうだ。
縫製業	秋物商品の受注は昨年の50%程度になり、生産スペースの半分は、防護服等で補っているが、先は10月末頃までの注文なので、その先が見通すことができない状況である。
染色整理業	長引く需要の停滞とコロナによる影響。先々見通し暗い。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	先月までのコロナ第二波でさらに業況悪化。海外の動きも小さく、工場の稼働率は引き続き安定していない。組合各社で助成金を活用しながら、雇用の維持に努めているが、見通しが立たず更なる休業を実施している事業所もある。
一般製材業	新型コロナウイルスの影響により、業界全体がダメージを受けていることが散見されるが、当組合においては、あまり影響を受けていないと解される。
家具・建具製造業	営業活動の再開により売上は持ち直し傾向にあるが、今後については予断を許さない状況であるとの認識が大半である。資金繰りについては各種の制度融資・補助金利用が浸透しており、安定している様子である。倉庫需要が高まっており、県内外からの問い合わせが増加している。
建具製造業	新型コロナウイルス感染症による景気停滞の影響は、多々であり、また今夏は猛暑と延期になったオリンピック対応にて休日が多いなど生産効率も悪く、厳しい営業成績となった。
印刷業	大きく悪化する取引条件、需要の低迷、コロナ禍の影響により、先行きともに厳しい状況に立たされている。
石灰製造業	鉄鋼向けは、相変わらず減産傾向であるため、出荷減。肥料関係も、天候、コロナ等の影響で減少傾向。建材関係は、ほぼ前年並みに推移。全体では、先月同様、鉄鋼向けの減少が大きく影響している。
金属製品製造業	自動車メーカーからの受注状況は、各社毎に生産調整中のところ、回復してきたところ、変わらないところと様々である。家電関係では、冷蔵庫の受注は増加し、エアコン関連の受注はほぼ変わらない状況である。
金属製品製造業	自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも新型コロナウイルス、売上低下、人件費増加、人手不足により低下した。
一般機械器具製造業	令和2年8月の報告は前年同月と比較し、売上高の減少により収益状況も悪化が続いているが、企業全般に回復の兆しが見られる。資金繰り状況悪化懸念はある。新型コロナウイルスに関し今後の動向に注視し政府等の支援対応に期待している。
一般機械器具製造業	企業業績について最悪期は脱しつつあるとみられるが、コロナ前の水準に戻るには相当の時間を要するものと思われる。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響は5月頃をピークに徐々に回復傾向にあるが、前年比6～7割の戻りである。この状態から更に上昇するためには、根拠のある景気対策が必要とされるように思う。
各種商品卸売業	依然として新型コロナウイルスの影響による売上減少や収益悪化とする企業が多く見られる。会館の貸会議室利用状況は、新しい生活様式による感染症対策が浸透し、利用状況は徐々に改善している。
食肉小売業	新型コロナウイルスの影響で、お客様の動きが悪く、販売が振るわない。買い物を自粛している。
中古自動車小売業	中古車の発生減で、流通相場は高止まり、仕入が困難に。利幅減。販売台数はやや低調。
各種商品小売業	残念ながら8月期も物販店の多くの所が前年よりも20%～30%の売上減と聞いている。飲食店は宇都宮市の食ベトクチケットの利用率が高く、前年同月より多少売上減はあるが、好調と聞いている。全体的には、苦しい経済環境であることは間違いない。更なる事業継続の為の給付を必要とする店舗が増えている。
各種商品小売業	6月、7月に回復の兆しが見えてきたが、8月は一転して再び大幅に前年を割り込んでしまった。猛暑による外出控えもあったと考えられる。せめて気候だけでも落ち着いてほしい。

花・植木小売業	お盆商戦は期間を通して小売りは良く動いたが、長梅雨や局地的な大雨の影響から盆入り前には品薄高値相場となり仕入には大変苦慮した。ブライダル件数は依然として、ほぼゼロに近い状況が続いている。葬儀件数は例年並み。徐々に通常通りに葬儀へ参加をされる方が増えてきている。
理容業	新型コロナウイルス感染症の影響で先月に引き続き、来客数がかなり減少し、売上も減少している店舗が多くなっている。国または地域で受けられる助成金等の情報は、迅速に組合員へ情報提供するように心がけている。非組合員からの情報提供依頼が、たびたび来ているので、これを機に組合加入に繋げていけるよう案内していければと考えている。
自動車整備業	売上高はやや回復傾向にある。材料等原価が増加し収益が悪化した。
旅館・ホテル	新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊は前年対比70%まで戻ってきたが、アベレージは1,000円以上下がったままであり、まだまだ非常に厳しい状態。宴会は100%ダウン。飲食店は60%ダウン。
ビルメンテナンス業	宅配関連の倉庫内請負業務が増収増益となっている。ビルメン、廃棄物収集運搬については、人件費・外注費が増加し、収益悪化している。
給食センター	売上高は、新型コロナウイルスの影響で、数か月間は昨年度より大幅に減少となったが、新規事業を開始したため、今月は少し回復した。雇用の確保、事業の継続をするためのキャッシュフローは、国・県の制度融資でなんとかこなしているが、新型コロナウイルスが終息せず、このまま続けば収益・資金も危うい。
内装工事業	緊急事態宣言解除後、徐々にではあるが業界の動きが活発化しつつあるが、以前のような活況さにはまだほど遠い状態が続いている。
一般貨物自動車運送業	新型コロナウイルスの影響が大きく出てきている。新型コロナウイルスや長雨で荷量・便数が減少したことにより、土地代や支払いが大変になってきている。このままでは、給料の減額も視野に入れなくてはならなくなる。
貨物軽自動車運送業	今月も厳しい状況に変わりはないが、少しずつ物流が勢いを取り戻しつつある。売上高の減少を簡単に止めることはできないが、コロナ禍であっても定期の仕事に影響が出ていないのが救いである。今は我慢の時。
一般乗用旅客自動車運送業	一時コロナ感染症対策が功を奏したかと思われたが、再度感染者が増えており、夜の街中は、ほとんど人通りがなくなった状態である。売上も激減し、先行きの見通しがたない現状となっている。
大谷石採石業	新型コロナウイルスの影響だと思われるが、先が見えない状況になっている。